

## 別紙資料【求める人物像】

将来のプロデューサー候補として、弊社が求める素養と能力・経験は以下の通りです。  
ご自身に当てはまるものをアピールしてください。全てを備えている必要はありません。  
ご応募をお待ちしております。

<p>求める素養</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①フットワーク 課題やチャンスを見つけたらすぐに取り組む姿勢を評価します。</li> <li>②サービス精神 約束を守る、約束した以上の付加価値を提供する姿勢を評価します。</li> <li>③メンタルタフネス 目先の成功に慢心せず、失敗におびえず、打つべき手を打ち続ける姿勢を評価します。</li> <li>④バランス感覚 相反する利害や考え方をまとめ上げるバランス感覚を評価します。</li> <li>⑤基礎学力 中学校を優秀な成績で卒業できるくらいの論理的思考力、科学的思考力が業務に必要なだと弊社は考えます。</li> <li>⑥執着心 参加するプロジェクトについて誰よりも考えることによって、そのプロジェクトの中心となることができると考えます。</li> <li>⑦セルフモチベーション 担当する仕事が自分自身と周囲のメンバー、組織、そして業界にとってどのような意義があるかを主体的に考える姿勢を評価します。</li> </ul>
<p>求める能力・経験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①IT分野・理工系全般の能力 これからのプロデューサーには、エンジニアとの意思疎通も必要になると考えます。大学等の教育機関で、コンピュータ科学などIT分野・理工系を専攻していた方には、ぜひ弊社でプロデューサーを目指して頂きたいです。</li> <li>②外国語能力・異文化理解力 英語、中国語、スペイン語、アラビア語などに堪能な方、現地への長期留学経験のある方のご応募をお待ちしています。</li> <li>③個人で商売を行った経験 「個人で音楽イベントを主催して利益を挙げていた」など、個人の意志で商売を立ち上げ、最後までやりとげた方のご応募をお待ちしています。</li> <li>④組織のリーダーまたはナンバー2を担当した経験 サークルの幹事長のように、目上の存在がいないリーダーでも、ゼミの幹事長のように、目上の存在（教授）がいるリーダーでも、どちらでも構いません。</li> </ul>